

科研 A 第二回研究会@岡山理科大学

(メモ: 赤松)

時間: 11 時～

参加者: 宮本、竹田、内田、安藤、寺尾、村田、南出、矢嶋、林、大西、

本来なら報告書として質問表をまとめたものができてないといけませんが。

とにかく中間報告書の作成に向けて今回はやっていきたい。

在地班…質問表をベースに日本語で

専門班…

発表

1. 大西さん

竹: CF にもカワウソ住んでる?

大: 住んではいるが、調査許可がきびしい

内: 村人が持つカワウソの価値は?

大: ハンティング対象(漢方薬)だがそこまで狩猟圧は高くない。

カワウソに対して害獣意識も特にないが、昔に比べて数は減少している。

安: エコツーリズムとしてすごく価値がある。トヨタが落ちたら今度は大西さんの名前で、エコツーリズムではなくエコミュージアムで申請しては? オポと大西さんのところで大学-NGO の協働で実践活動を保全、環境問題、地域、NGO、国際のワードを使いながら。

大: 地元の人エコツーリズムやってるが、実際のところ何がいるのかよくわかってない。大型哺乳類はスターだけどそれ以外に対しては意識が低い。

安: 地域でワークショップやってくれているのは大西さんだけ。

魚リーフレットはあるので、今度はカワウソなどのも作って欲しい

2. 宮本さん

科研 A 以降は災害関係の研究をスタート。

岡山の洪水のおさらい→岩国での調査。

大: 洪水などは生き物の環境にも影響を与えるのではないか。

宮: もう少し古い時代になると思う。

内: 最近も岡山で大きな洪水あったが、昔からあったのか?

宮: 昔は人が住んでなかった。あとからは被差別部落の分布と一致するという理論もある。

内: この科研に対して、宮本さんの研究の落とし所はどのへんになるのだろうか?

バングラの調査でも似たような感じがあるが。

安: 古環境の復元(洪水)を現実にフィードバック・活用できるような視点を入れると、ユニークな研究になると思う。防災に関連付けてやればすごくウケるのでは。この話を町内会などでしたときの人の反応も入れると

面白くなりそうだ。バングラなどとの比較（バングラ→自然との共生）も防災や古環境分野の人に注目されるのではないか。

竹：災害と弱者の関係を調べている研究者はいるのか？

宮：最近まではタブーだったが。

竹：最近ラダックでも死者が出たが、それはチベット人村でも他の人は誰も住まなかった場所だった。

3. 矢嶋さん

竹：在村者だけのリストを作ったほうがよいのでは。村の人口ピラミッドも凹んでるところがある(20-24 コホート、あと 40-44 コホート)。

矢：ホントの在村者だけしか対象になっていない。凹んでるところは出稼ぎだと思われる。

また子供が少ないのは、孫と子供が住んでいる世帯など。

約 30 年前に開村した村だ。

4. 山根さん（林さんより報告）

5. 林さん

安：地球温暖化は大きなグローバル・イシューであるが、そのなかで在地に根ざしたブレイクスルーとなるような実践的な研究 はできないものか。気象の変化があり、そのなかでこのような社会の変化も出てきているというようなことが捉えることができるような概念ができればいいが。

竹：アッサムは茶園で灌漑しているのか？

林・安藤：YES 田んぼの少し高くなったところが茶園になっているので乾きやすい。スプリンクラーがある。

6. 南出さん

安：村を出ている人はどのくらい？

南：把握している。理由は聞くがありきたりな答えが多い。

7. 安藤さん

安：家を 2 軒持っている家が結構ある。そして古い。

12~15 年前に集中しているが、何があったか調査しないといけない。

海外出稼ぎも行っている期間が長い（バングラ人は特に目標もたない）。

地域の小都市が健全に機能しており、一点集中しないようになっている。

田舎から地方都市に通える。

8. 村田さん

内：1800~の雨量データはオープンされるのか？

林：多分来年くらいに

9. 寺尾さん

10. 竹田さん

内：ラックカイガラムシはどこでもマージナルなところにいるのか？

11. 赤松

12. 市川さん

安：田舎が好きな若者も京都にいる。

市：幻想を見ている若者もいる。田舎に住んでいても百姓をしたことはない若者。

安：“幻想”という言葉は使わないほうが良い気がする。

学生と真剣に議論をしたことがある(村に住みながら職場に通えないか)。

安藤：この科研は最終的にアクションリサーチに持っていかないといけない。

例えば大西さんのやっているようなタイプ。

プログラムをつくって協働で解決を目指すのは時間的に厳しい。

コラボも良い(例えば浅田さん一)。

追記：営農意欲の低下に関する調査、ワークショップ、家屋環境